

宇宙の音、星の音

in Brother Earth
レーザーアース

この投影は、名古屋市科学館と名古屋市青少年文化センターが協力して開催するプラネタリウムの特別投影です。内径35m、世界一大きなドームスクリーンに投影される満天の星、最新の天文学の知見を交えた学芸員の生解説、そして先端技術を駆使して作曲された音楽をお楽しみください。

〈音楽〉寺井 尚行、大河内 俊則、野呂 有我 〈レーザー〉カスト
 〈映像・星空〉名古屋市科学館・プラネタリウム 〈解説〉毛利 勝廣
 〈事業運営〉名古屋市青少年文化センター（アートピア）

〈音楽〉

寺井 尚行 (愛知県立芸術大学 作曲専攻 教授)

テクノロジーを活用した複合的表現作品を核として、多くの先端的作品を創作している。〈Frequency〉for bassoon and tape (Las Vegas & Philippines)、「時間が空間を舞う」for wind orchestra and computer (東京)、〈Colors in the forest〉for flute, cello, double bass and percussion (Helsinki & San Diego)、〈Decrements〉for alto saxophone, new musical machine, picture, multi channel audio and computer (愛知,山口)等を初めとして、つくば科学万博、山形国体、愛知国体、瀬戸内国際芸術祭等の開会式音楽も手掛けた。現在、愛知県立芸術大学作曲専攻(作曲)教授。

大河内 俊則 (音楽家)

1963年、三重県生まれ。愛知県立芸術大学作曲専攻卒業。岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー、アート&メディアラボ科(現:情報科学芸術大学院大学)修了。聴覚と視覚の関係をテーマに、作品制作を行っており、プラネタリウムを始めとする多くの映像表現の現場にかかわる作曲家。現在、愛知県立芸術大学、大同大学、同朋高校、名古屋音楽大学で非常勤講師を務める。

野呂 有我 (愛知県立芸術大学 非常勤講師)

1988年、三重県松阪市に生まれ、愛知県立芸術大学の大学院を卒業。映像や光を伴った音楽作品を日々制作し、瀬戸内国際芸術祭の関連イベントとして女木島で「眠りがさびしくないように」を展示。オアシス21の屋上の「水の宇宙船」でライティングと音楽の作品を発表。現在、名古屋芸術大学、愛知県立芸大で非常勤講師を務める。

〈解説〉

毛利 勝廣 (名古屋市科学館・プラネタリウム 主任学芸員)

1964年、名古屋市生まれ。名古屋大学理学研究科地球科学専攻修了。(株)NTTデータ通信を経て現職。名古屋大学人間情報学研究科にて学位取得。学術博士。名古屋市科学館・プラネタリウムの解説者として26年。プラネタリウムや天文事業の企画運営、映像制作などを行う。天文教育及び情報技術の天文教育への応用が専門。現在、名古屋市科学館学芸課天文係長。



交通アクセス

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車、4・5番出口から南へ徒歩5分
- 市バス「広小路伏見」下車、南へ徒歩5分
- 名鉄バス「白川公園前」下車、北へ徒歩5分

公演に関するお問合せ

名古屋市科学館 TEL 052-201-4486

(月曜日休館/祝日の場合はその翌平日、第3金曜日、8/15、19は特別開館、9/6、7は臨時休館)

チケットに関するお問合せ

名古屋市青少年文化センター [アートピア]

TEL 052-265-2088

(火曜日休館/祝日の場合はその翌平日)

